講義名称	社会福祉概論Ⅱ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1年後期
必修・選択	社子→必修／理作看→選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（2）、子ども教育保育学科（2）、理学療法学科（1）、作業療法学科（1）、看護学科（1）（2）、総合経済学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	23110002
金城大学看護学部看護学科	73210432
金城大学医療健康学部作業療法学科	53210405
金城大学医療健康学部理学療法学科	43210405
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	13114002

担当教員

氏名	所属
◎ 内　慶瑞	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	指定教科書を用いながら、下記について学修する。 1　福祉政策の財政について学ぶ。 2　福祉政策の供給と利用について学ぶ。 3　関連政策（保育　医療　教育など）の動向について学ぶ。 4　社会福祉の国際比較について学ぶ。
到達目標	1　福祉政策の概要（財政　供給と利用）について理解することができる。 2　関連する政策について理解することができる。 3　社会福祉の国際比較の概要を理解することができる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 オリエンテーション　福祉政策の財政１　財政の役割	
	【事前事後学修の内容】 社会福祉概論Ⅰで学習した内容を復習しておくこと	【事前事後学修時間（分）】 90
第2回	【授業計画】 福祉政策の財政２　福祉国家の財政	
	【事前事後学修の内容】 教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	【事前事後学修時間（分）】 60
第3回	【授業計画】 福祉政策の財政３　日本の福祉財政の課題	
	【事前事後学修の内容】 教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	【事前事後学修時間（分）】 60

第4回	【授業計画】 福祉政策の供給と利用１　公的部門	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第5回	【授業計画】 福祉政策の供給と利用２　民間部門	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第6回	【授業計画】 福祉政策の供給と利用３　部門間の調整・連携・協働	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第7回	【授業計画】 福祉政策の供給と利用４　福祉人材	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第8回	【授業計画】 福祉政策の供給と利用５　利用者支援	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第9回	【授業計画】 関連政策の動向１　保健医療政策とソーシャルワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第10回	【授業計画】 関連政策の動向２　教育政策とソーシャルワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第11回	【授業計画】 関連政策の動向３　住宅政策とソーシャルワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第12回	【授業計画】 関連政策の動向４　労働政策とソーシャルワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第13回	【授業計画】 社会福祉の国際比較１　比較福祉国家研究	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60
第14回	【授業計画】 社会福祉の国際比較２　比較福祉国家研究の中の日本	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書（次回分）の予習（範囲は授業時に伝達する）　先週の分の復習	60

第15回	【授業計画】 社会福祉の国際比較３　新しい福祉国家に向けて　まとめ	
	【事前事後学修の内容】 全授業の総復習	【事前事後学修時間（分）】 90

履修に必要な予備知識や技能	社会福祉概論Ⅰおよびソーシャルワーク論Ⅰで学んだ内容をしっかりと復習して理解しておくこと
課題に対してのフィードバック	小テストは次回の授業時に補足説明および解説する。アクティブラーニングを適宜実施して、翌週にフィードバックする。
評価方法・基準	定期試験80％　小テスト10％、受講態度10％
教科書	教科書：『社会福祉の原理と政策』ミネルヴァ書房
実務経験の内容・期間	市社協福祉活動専門員　10年 県社会福祉士会副会長・理事　15年